

お茶をちょうだいいたします

6月12日（水）、水元中央小学校（野呂良悦校長）の礼法室で、お茶の作法を学ぶ体験教室が開かれました。

今回の教室は社会の授業の一環として、6年生の児童10人が室町時代の茶道の文化を自ら体験して学ぶことを目的に行われたもので、講師の中野京子さん（妙堂崎）が生徒たちにお茶の作法やお茶菓子の食べ方を丁寧に教えました。

お茶とお茶菓子を出す班と受け取る班の2つに分かれて行われた教室では、生徒たちが「どうぞ」とお茶とお茶菓子を出し、それを受け取り、自分の前に寄せて「ちょうだいいたします」などといった動作を交互に行いました。

生徒たちは慣れないお茶の作法やお茶菓子の食べ方に終始とまどいながらも、中野さんの指導を聞きながら真剣に取り組み、おいしいお茶菓子とお茶を味わっていました。



△中野さんが生徒たちに丁寧にお茶の作法を教えました

おにぎりを食べてけっぱれ！

6月7日（金）、鶴田中学校（樋口貴俊校長）で平成25年度中体連夏季大会壮行式が執り行われました。出場する部員は、部活ごとに色とりどりのユニフォーム姿で登壇し、試合への意気込みを全校生徒の前で語りました。

選手宣誓では、男子バスケットボール部主将の秋元翔太さんと女子テニス部主将の千葉愛未さんが練習の成果を発揮し、全力でプレーすることを誓っていました。

また、この日壮行式と兼ねて「真心と感謝を結ぶおにぎりの集い」が行われ、PTA、町食生活改善推進協議会、生活改善グループ連絡協議会のメンバーの方々にごったおにぎりが生徒の皆さんにふるまわれました。「おにぎりを食べてがんばります」と誓うように、生徒たちは笑顔で真心のこもったおにぎりを食べていました。



△真心のこもったたくさんのおにぎりが生徒に配られました



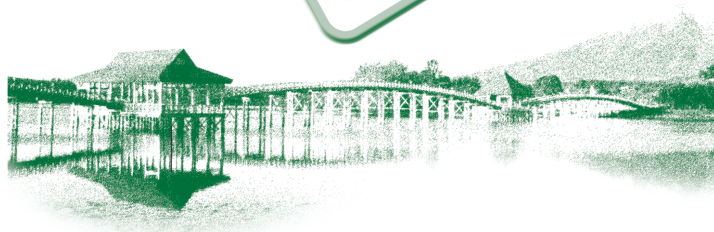
6/17 町婦人会が日頃の感謝を込めて町長にプレゼントを贈る



6/5 タンチョウのヒナ誕生



6/5 水道設備点検・修繕ボランティア活動出動式が行われる



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（22-2111 内線264）

力走！子どもたちが駆け抜けた！

今年も町内の保育園、小学校、鶴田中学校において運動会が行われ、子どもたちが日々の練習の成果を発揮しながら青空の下で楽しく汗を流しました。

鶴田小学校の応援合戦には町のマスコットキャラクター「つるりん」が登場。グラウンド全体が一気に盛り上がり、競技に参加する生徒全員に気合いの熱が入りました。

また、各学校では応援合戦やリレーのほかにも、工夫を凝らした競技が催されました。胡桃館小学校では、親子が息を合わせて走る「ジャンボパンツリレー」、菖蒲川小学校では地域の幼児による障害走「げんきいっぱい」が行われ、富士見小学校では岩木山を背景に伝統ある獅子舞が披露されるなど各学校で内容の濃い運動会となりました。

地域、PTA、児童が一緒になって取り組んで、いっそう運動会を盛り上げていきましょう。



△ゴールめがけて子どもたちがトラックを駆け抜けました



△黒く光った大きなカブトムシに子どもたちは大興奮

カブトムシ大切に育てます

6月18日（火）、鶴田ライオンズクラブが青少年健全育成事業として、鶴田中央保育所（吉川光一所長）にカブトムシ5匹（オス3匹、メス2匹）を寄贈しました。

この事業は、地域の子どもたちに、自然と生きものの命の大切さを学んでもらうことを目的に青少年健全育成の一助として行っています。

今回、寄贈されたカブトムシは鶴田ライオンズクラブ会員の小田桐功一さんが卵から大切に育ててきた国産のカブトムシです。1日にゼリーを2個食べますが、1カ月の短い寿命しかありません。

園児たちは「カブトムシどうもありがとうございます。大切に育てます」とお礼の言葉を述べるとともに、大事にカブトムシの世話をすることを誓っていました。

あるじゃが12周年を迎える

6月22日（土）、23日（日）、道の駅つるた鶴の里あるじゃにおいて、12周年記念『全国「道の駅」フェア&鹿児島県さつま町フェア』が行われました。イベントにはさつま町や全国の特産品を買い求めるために2日間で約2万6千人の方が来場し、過去最多のにぎわいを見せていました。

また、この日はさつま町から和気純治副町長、JA さつまの木原成孝専務らも参加。オープニングセレモニーではさつま町のマスコットキャラクター「さつまちゃん」と鶴田町のマスコットキャラクター「つるりん」が互いの絆を深めるために町の地酒を交換しました。



△さつまちゃん



△オープニングセレモニーの様子。空高く風船が舞い上がりました